

ながまち荘

だより

VOL 52



編集発行

社会福祉法人 體 濟生会支部山形県濟生会 特別養護老人ホーム
〒990-0811 山形市長町751番地

■指定介護老人福祉施設 TEL(023)684-2391 (代表) FAX(023)684-2394

■指定短期入所生活介護事業所 (介護予防短期入所生活介護事業所)
TEL(023)681-5732

■指定通所介護事業所 TEL(023)681-7589

■濟生会なでしこ地域包括支援センター
TEL(023)681-7450 (代表) FAX(023)681-7603

ながまち荘

発行責任者 施設長 奉田 幸悦

発行日 令和4年10月

印 刷 コロニー印刷

E-mail nagamachiso@yamagata-saiseikai.org

施設長挨拶



特別養護老人ホームながまち荘

施設長 峯田 幸悦

この半年はコロナ禍に加えて、世界に目を向ければロシアによるウクライナ侵攻、国内に目を向ければ安倍元総理の銃撃事件、そして各地で相次ぐ豪雨災害による被害など、心が痛むことの多いものとなりました。

ながまち荘におきましても職員の日々の健康管理・行動制限、ご家族の面会を含む外来者の出入りの制限など最新情報の収集をしながら、その時に応じた厳しい感染対策を講じておりましたが、4月下旬から36日間に及ぶ新型コロナウイルスの集団感染を出すこととなり、入居者・利用者ははじめ、そのご家族様に多大なるご心配・ご迷惑をお掛けすることとなつたことについてのお詫びと、毎日防護服に身を包み感染エリアで奮闘する職員に対して、温かい激励の声を掛けて頂いたことに関し、この場をお借りして感謝申し上げます。

私たちはこの度の経験や教訓をもとに再度集団感染を起さないための努力をしていくことに加え、県内各地で同様の状況に遭遇している介護事業所に活用していただけるよう経過をまとめ具体性のある対策を発信していくことを考えております。新型コロナウイルス感染症の第7波を迎える爆発的な感染拡大が起こっている中、未だ終息の兆しが見えない状況にありますが、関係機関との密な連携や済生会のスケールメリットを活かしながら、皆様により安心と安全を提供できる高品質なサービスの提供に向けて、これらも職員一丸となり邁進してまいります。

今後とも、指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「済生会110周年記念式典に参加して」

介護主査 会田るみ

令和4年2月27日、済生会の総裁であられる秋篠宮皇嗣殿下ご臨席の下、済生会創立110周年記念式典が東京・明治記念館で行われました。

式典後第一部として「済生会の明日を語る」と題したシンポジウムに済生会福祉部門のシンポジストとして参加させて頂きました。ながまち荘での障がい者雇用率が6%と高い事や外国人介護福祉士の養成状況、また福島県郡山市相馬市の特養への職員の災害派遣を行った事などを報告し、「多くの取り組みを行い、多種多様な人材がいる当荘においては、決して特別なことではなく日常のこと」を伝えてきました。

その中で済生会医療理事長より「障がい者雇用率が6%の施設はどこにもないのではないか、素晴らしい取り組みである」と壇上にてお褒めの言葉をいただきました。

今後も質の高い多様な取り組みが継続できることを誓い、明治記念館を後にしました。

はじめてのシンポジウムへの参加でシンポジストとの大役、しかも済生会記念式典という大舞台に緊張しないわけがなく、ただただ当荘職員の姿を思い浮かべて荘の取り組みを自信をもって報告できたことは素晴らしい体験でもありました。ながまち荘に関わる全ての方に感謝いたします、ありがとうございました。



ホーム (長期入所)

夏パーティー

コロナ禍で行事の少ない中ですが、季節を感じていただけるような関わりをもっています。

出前

いつもと違った食事を味わい、楽しみました。

冷やし中華うまい!!



敬老会

規模を縮小、感染症対策のうえ、式典を執り行いました。御家族の方も参加していただき、和やかな雰囲気となりました。

紀寿



白寿



喜寿



米寿



お祝い者を代表して挨拶しました。



ショートステイ (短期入所)

ショートステイでは、感染予防に努めながら、行事やレク活動を実施しています。皆様が楽しく!! 安心して!! 過ごしていただけるよう、日々頑張っています。

完成!!



花笠作り



何色に
しようかな?

夏祭り



花笠踊り



次は白かな?
黒かな?

みてみてー!
できた!!

スイカ割り



囲碁で脳トレ



みんなで
協力して、
ボールを落とさないようにねー!

ひまわり作り



ポール運び



アロハ



なかなか釣れないなあ~

力を合わせて
頑張るぞー! オー!!!

デイサービス (通所介護)



下肢三点セット



足の指運動

利用者様の体調に合わせて
活動を行っています♪



脳トレ・指運動



発声練習

<口腔機能向上の取り組み>

当荘では、「口腔清潔」「唾液分泌」「咀嚼(そしゃく)」「嚥下(えんげ)」「食事摂取」などのお口の機能の低下が認められる状態、またはお口の機能が低下する恐れがあるご利用者様に対し、看護師や歯科衛生士が個別で指導を行っています。



<学習療法>

定期的に簡単な読み書き・計算を行うことで、認知症の予防、進行の緩和に効果があります。ご希望される方が取り組まれています。



※赤い色は脳が活発に
働いている部分です。



輪なげ

専門職から

ワンポイントアドバイス

第3回



作業療法士 木村 春奈・井上 大生

コロナ禍で自宅にこもる時間が増える=運動不足になる方も多いのではないでしょか?運動不足で腰痛になる方も増えています。そこで、今回は作業療法士によるご家庭でも出来る簡単な「腰痛予防」の体操についてお届けします♪

「腰痛」は腰の部分を中心とした痛み、張りなどの不快感をさす症状の総称です。日本人が訴える痛みの中でも最も多い症状です。

- 腰をかがめて歩く
- 椅子に長時間座っていると腰が痛む
- 急に立ち上がると腰が痛い

こんな症状がある人は
運動を始めましょう!



- 1 息を吐きながらお尻を5秒間持ち上げましょう。
お尻に力を入れながら身体と足が平行になるまで上げましょう。



- 2 息を吐きながら、お尻や腰が伸びるように片足を抱えて膝を肩に近づけるようにして20秒間止めて下さい。



10~15回で1日2~3セット行いましょう。
過度な安静や痛みへの不安を抱えてしまうと、腰痛慢性化の原因になります。
世界では腰痛があっても医師に確認をして、過度な安静は最小限にし、生活や運動を取り入れる事を推奨されています。

生活動作時の ワンポイント

- ・物を持ち上げる時には中腰ではなく、物を体に近づけて重心を低くする。
- ・椅子に座る時は前傾姿勢を避け、机や椅子の高さ・クッション等での腰当てで調整する。
- ・長時間の立ち・座り作業を避ける。

アグス介護員は介護福祉士候補生として平成27年に当施設に入職し、見事資格を取得し正職員としてケアに励んでいます。アグス介護員は「人生の先輩の貴重な経験談を聞くのは本当に楽しい事。この仕事の魅力を皆さん知つほしい。」という強い想いから、このプロジェクトへの参加を決めたそうです。撮影された写真からは誠実な人柄と介護の仕事を楽しんでいる気持ちが伝わってきます。これからも職員一同仕事に「プライド」を持って、親切丁寧なケアに努めてまいりたいと思います。

令和3年12月、当施設のアグス介護員が「KAIGO PRIDE」プロジェクトに参加し今よりその模様が県内外の展示会等で発信されています。テレビCMで目にされた方もいらっしゃるのではないかでしょうか。

厚生労働省が主導する介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業の一環としてスタートした介護の魅力発信活動で、一般

社団法人KAIGO PRIDEが実施しています。今回参加したのはケアワーカーブランディングという事業。介護職員自身が輝く瞬間や想いを写真におさめ「介護職員の持つマインドのカッコよさ」を広く発信するというものです。

アグス介護員は介護福祉士候補生として平成27年に当施設に入職し、見事資格を取得し

アグス介護員の 「介護プライド!」



夜間風水害 避難訓練



8月19日、今春完成した安全避難棟を使い、夜間風水害訓練を行いました。当施設のそばには馬見ヶ崎川があり、氾濫注意水位3.9mで職員招集、4.7mで避難開始となっております。今まででは近隣の済生病院への避難を想定して訓練をしておりましたが、2階建ての安全避難棟ができたこともあり垂直避難が可能になりました。



当日は入居者役の職員20名を含めた職員約60名が参加し、入居棟から安全避難棟への誘導を行いました。今回は車椅子、リクライニング車椅子、ベッドの入居者を想定し20名をエレベーターを使用し2階に避難させるまで約20分で完了しました。

実際に夜間災害が起った際は、招集している職員が到着するまで夜勤者4名のみで、長期入居者80名とショートステイ利用者約20名を避難させる必要があります。全員避難が完了するまでは、より多くの時間がかかることが想定されるため、今後も訓練を継続しながら、万が一の災害が起った際に迅速な対応ができるよう取り組んでまいります。

令和3年度ながまち荘決算状況

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

資金収支計算書

(単位:円)

事業活動収入	643,510,184
事業活動支出	633,680,960
事業活動資金収支差額	9,829,224
施設整備等収入	235,192,000
施設整備等支出	328,449,113
施設整備等資金収支差額	△ 93,257,113
その他の活動収入	568,092
その他の活動支出	4,531,000
その他の活動資金収支差額	△ 3,962,908
当期資金収支差額	-87,390,797
前期末支払資金残高	258,298,709
当期末支払資金残高	170,907,912

*財務諸表の詳細については、ながまち荘事務室において閲覧できます。

事業活動計算書

(単位:円)

サービス活動収益	642,954,153
サービス活動費用	651,136,196
サービス活動増減差額	-8,182,043
サービス活動外収益	874,123
サービス活動外費用	169,370
サービス活動外増減差額	704,753
特別収益	156,742,000
特別費用	162,317,157
特別増減差額	△ 5,575,157
当期活動増減差額	-13,052,447
前期繰越活動増減差額	284,722,153
次期繰越活動増減差額	271,669,706

貸借対照表

(単位:円)

資産の部	
流動資産	401,677,322
基本財産	346,354,970
その他の固定資産	221,484,914
資産の部合計	969,517,206
負債の部及び純資産の部	
流動負債	257,987,522
固定負債	106,738,800
負債の部合計	364,726,322
国庫補助金等特別積立金	333,121,178
次期繰越活動増減差額	271,669,706
純資産の部合計	604,790,884
負債の部及び純資産の部合計	969,517,206

編集後記

新型コロナウイルス第七波の猛威に加え、熱中症や自然災害等への心配な日々が続いています。当荘でも新型コロナウイルスの影響で、十分なサービスを遂行することができない時期もあり、皆様にはご心配・迷惑をおかけいたしました。

感染症への不安が続きますが、職員一同、今後も感染対策を行なながら、利用者様とご家族様が笑顔でいきいきとした生活を送ることができるようなサービスの提供に努めてまいります。

夏の疲れが出てくる頃と思いますのでご自愛下さい。

広報委員／岩崎勝也、三浦真澄、佐藤郁恵、高見友郁、大場智子、種本佳奈恵、佐々木香織、鈴木郁苗、湯川恵美